

会長あいさつ

会長:加藤 奈智子

同窓会々員3000余名の皆様、お健やかに過ごしのことと拝察いたします。今回から会員全員のお手元にニューズレターをお届けできることになりました。数年来の願いが役員、委員によって何とか実現できたことを大変嬉しく思います。ところで台風13号の影響は如何でしたか。大きな被害に遭っておられなければいいかと案じています。台風で吹き上がった海風のせい、街路樹のナンキンハゼなどがとところどころ紅葉をみないままに枯れているようで早い秋を感じています。

さて、この同窓会を継承・発展させていくために今年度配慮したこととして①講演会を企画しました。講師として現長崎大学長へ「長崎大学の現状と保健学科に期待するもの」と題して、短時間で申し訳ないのですが、講演を依頼しております。同窓生として母校の現状を強く実感して頂きたいという思いからです。②100年記念事業として皆様の多大なご協力により創設した「研究奨励賞」の第1号の研究発表を頂きます。素晴らしいことですね。楽しく拝聴しましょう。

最後になりましたが、日常生活の中で健康に留意され自分らしさを保ち、豊かに過ごしてまいりましょう。長い歴史をもつ看護学同窓会を発展させていくための原動力となる後継者にどのように引き継いでいけばよいか、皆様と共に考えていきたいと願っています。11月23日はお友達とお誘い合わせてご参集ください。1人でも多くの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

同窓会会員数(H. 18. 11. 23現在) 平成18年度 庶務報告

総数	3,114名
養成所	330名
厚生女学部	155名
看護学校	1,348名
医療短大	1,202名
保健学科	79名

1.平成18年度同窓会入会者 79名(医学部保健学科卒業生)

2.経過報告

1)同窓会総会 H.17.11.23

2)理事会開催 4回

3)同窓会運営会議・ニューズレター作成委員合同会議 H.18.9.25

4)慶弔

・3月 医学部保健学科卒業式 お祝い生花

・物故者への弔電

・8月長崎大学原爆慰霊祭にて加藤会長献花

5)看護学研究奨励賞運営



長崎大学医学部保健学科看護学専攻1回生卒業

長崎大学医学部保健学科看護学専攻は平成18年3月に79名の1回生を送り出すことができました。平成14年4月に入学した学生は、カリキュラムの進め方、卒業研究、学生生活、国家試験対策、就職活動など教員とともに歴史を作ってくれました。卒業後の進路は大学院の進学1名、保健師、助産師、看護師として病院等医療機関に78名が就職しました。主な地域は長崎県内に27名、九州地区30名、関東地区16名、近畿地区3名、中部地区2名でした。社会に旅立った1回生が今後どのような活躍してくれるの期待したいと思います。今後とも保健学科の教育にご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

(保健学科:浦田秀子)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻が開学

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻(修士課程)が平成18年4月に開学しました。医療の急速な発展に伴い、国民の細かな医療ニーズに対応できるような看護学・理学療法学・作業療法学のより専門性の高い知識と理論を拡充し、高度医療専門職の育成を目指しております。修士課程修了後は修士(看護学、理学療法学、作業療法学)の称号を得ることができます。教育・研究組織は「看護学」と「理学・作業療法学」の2つの講座からなり、さらに看護学講座は「健康推進看護学」と「リプロダクティブヘルス・国際看護学」の2つの分野にわかれております。今年、看護学講座には一般および社会人選抜を合格した9名が入学しました。社会人に対しては、昼夜開講、集中講義等により受講が配慮されています。現在、学生は講義、演習、研究に指導教員と密に連携をとりながら看護学を探究しています。

(保健学科:浦田秀子)

平成19年度看護学研究奨励賞募集

看護学研究奨励賞は、長崎大学における看護教育100年記念事業として平成17年度よりスタートしました。これまで4件の申請が採用され本年度は第3回の募集となります。この奨励賞が皆様の研究の一助となり、看護学の発展、臨床看護水準の向上に寄与できますよう多くの方の応募をお待ちしております。主な応募要件は以下の通りです。

1. 応募資格: 1)長崎看護学同窓会会員(準会員を含む) 2)長崎大学医学部保健学科看護学専攻教員
2. 助成金の金額: 助成金は1年に50万円を限度として、1~2件交付する。
3. 研究助成期間: 平成19年10月1日~平成20年9月30日
4. 応募受付期間: 平成19年5月1日~6月30日の期間に所定の申請書(研究計画書)を提出。
5. 助成金の使途: 研究活動に必要な経費(旅費、消耗品、通信・運搬費、資料・印刷費など)。

選考については、提出していただいた研究助成申請書をもとに選考委員会で厳正に審査し助成を決定します。

申請書、応募方法等の詳しい内容は下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先: 担当理事 勝野久美子(長崎市医師会看護専門学校第1看護学科)

TEL:095-818-5804 Eメール:katsuno@ncma.or.jp

(理事:勝野久美子)

～これまでの看護学研究奨励賞受賞演題～

平成17年度

①「外来がん化学療法を受ける肺癌患者のアセスメントーPatient Needs Assessment Toolを使用してー」

(岡田みずほ:長崎大学医学部・歯学部附属病院)

②「長崎県内在住のキリスト教徒の死生観に関する研究ー遺族の悲嘆過程に焦点を当ててー」

(野村亜由美:長崎大学医学部保健学科)

平成18年度

①「日・韓看護大学生の喫煙の状況と意識の比較」(中尾理恵子:長崎大学医学部保健学科)

②「九州地方の日本人女子大生における人工妊娠中絶に関する研究」(入山茂美:長崎大学医学部保健学科)

フローレンス・ナイチンゲール記章受章に関する報告

5月12日ナイチンゲール生誕の日に、第40回フローレンス・ナイチンゲール記章受章者の発表が行われました。長崎大学長齋藤寛先生を发起人代表として、長崎看護学同窓会が中心となって推薦を行った久松シノノ元長崎大学医学部附属病院看護部長がめでたくその栄冠に輝き、受章決定の電話連絡が赤十字本社より看護部へ入り、私たちは喜びに沸き立ちました。長崎大学医学部保健学科の徳永瑞子教授も受章され、日本からの受章3名のうち2名が長崎からという快挙でした。

平成17年7月8日東京プリンスホテルで行われた授与式に、長崎大学より齋藤寛学長、加藤同窓会会長始め総勢6名が出席しました。日赤名誉総裁皇后陛下からのおことばの後、久松先生の胸に皇后陛下より記章が授与された瞬間は感動で胸が一杯でした。

両名の受章祝賀会は、看護学同窓会の定例開催日である11月23日にニュー長崎ホテルで挙行されました。发起人代表:長崎大学長、发起人:日本赤十字長崎県支部長、長崎県看護協会長、長崎大学医学部保健学科長、長崎大学医学部・歯学部附属病院看護部長と多方面からの後押しにより、祝賀会出席者総数332名という盛大な会となりました。祝賀会の前に行われた記念講演会も会場は満杯で多くの方が廊下で聴講するという盛況でした。祝賀会の出席者内訳は、来賓22名、赤十字社15名、看護学同窓会131名、看護協会31名、保健学科18名、第一内科同門会17名、ご親族・ご友人33名、看護部53名でした。受章の様子はビデオで紹介され、会は粛々とした中にも受章者お2人のお人柄があふれた心あたたまるものとなり、多くの方々から喜んで頂きました。看護師の団結力の素晴らしさを実感したとの声を頂いたことは主催者側として何よりの喜びでした。

長崎看護学同窓会加藤会長の提案で始まった推薦活動が実を結び、世界の選ばれた看護師に贈られる受章の栄誉を私たち多くの会員が共有させて頂くことができた幸せに心から感謝しております。久松先生、徳永先生の今後さらなるご健康とご多幸とご活躍を皆様と共に祈りたいと思います。(理事:田添京子)

長崎大学医学部・歯学部附属病院紹介

★新病棟は平成19年秋竣工、20年6月開院予定で建設中です。1フロアが西・東病棟(各45床)にわかれており、4階から12階までの合計18病棟となります。機能別診療体制でプライバシーを配慮した個室220室と4床室157室の病室が出来る予定です。現在はまだ工事中で、12階までそびえた鉄骨の裾に真っ白なタイル張りの外壁が一部見えているところですが、来年の同窓会の時期には立派な新病棟の外観を御覧いただけるとと思います。ご期待下さい。

★明治36年長崎県立長崎病院附属看護婦養成所に始まった長崎大学看護教育も103年を経て、やっと平成18年4月長崎大学医学部保健学科1回生卒業生の10名を附属病院看護師としてお迎えすることができました。半年が過ぎて緊張の中にも笑顔が見えるようになり、私達先輩もほっとしているところです。

平成19年度4月採用看護師募集の際は、保健学科学生後輩に立派にエールを送っていただきました。次年度にはまた多くの後輩を迎えて、より質の高い看護教育・研究ができる大学病院看護実習施設にしていきたいと思っております。看護学同窓会会員の皆様の期待をうけて、彼らが長崎大学病院看護の歴史をつないで、発展させていってくれることを祈念しております。

★長崎大学医学部・歯学部附属病院は、平成17年度診療報酬改定で新設された「一般病棟入院基本料7対1」取得にむけて平成19年度・20年度の2カ年計画で看護師確保対策を進めているところです。当院のポリシー:「安全・安心と高信頼性の医療サービスの提供」のために、教育研修制度の充実と専門・認定看護師活動支援、看護師宿舍整備、保育所の拡充など1日も早く職場環境を整えて7:1の看護師確保を図り、看護師が安心して専門性を発揮した看護ができる職場にしていきたいと思っております。(看護部長 下田澄江)

募金のお願い

100年記念事業の一環として皆様の募金により誕生した「看護学研究奨励賞」は、今年度から総会の席上で受賞者の発表を聴講できるまでに形作られて参りました。

この同窓会の大きな財産がさらに継承・発展していけますように、今後も募金募集は継続させて頂きたいと思っております。会員の皆様、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。(理事:田添京子)

新病棟イメージ図



編集後記

2年ぶりのニュースレターでしたが、いかがでしたでしょうか?構成など、前回とあまり変わりがなく、編集に成長のあとは見られませんが、今後も皆様に楽しく見ていただけるよう工夫していきたいと思っております。ご意見・ご要望をお待ちしております。

担当理事:吉川香代(医短3)
田島純子(医短3)